

コーディネーターだより

NO.2

2025.5.2

ゴールデンウィークを迎え、少し気持ちがホッとしている方も多いのではないかと思います。進級した喜び、新しいクラス、新しい先生…、とにかく新しい環境に慣れるために、頑張ってきた一か月。気付けば心身ともに疲れがたまっていないですか。この連休で、心も体もリフレッシュできるといいですね。

自閉症の理解と支援

4月23日に、校内研修を行いました。今年度も、講師として自閉症スペクトラム支援士の清水久仁子先生をお招きし、「自閉スペクトラム症の理解と支援」と題してご講義いただきました。

不安な気持ちを抱え、落ち着かない子どもの行動を目の当たりにして、支援者側も「何とかしなければ」という焦りから、対応を慌ててしまうことがよくあります。日頃の支援の中で、「どうしたらいいのだろうか？」を「こんなふうにやってみよう！」という前向きな気持ちになれる有意義な研修会になりました。

- ・ 「先手必勝！」やり始める前に、「何を」「どれくらい（時間や分量）」やるのかを相談して決めておく（折り合いをつけることを学ぶチャンス）。言葉でのやり取りができるようなら「終了」や「パーセント」など、少し難しい言葉を使うと、話にのってきやすい。
- ・ 特定の手順を繰り返すことにこだわるということは、「順番があるものには強い」ということ。手順が明確であれば正確に作業を続けられる。
- ・ ペースを乱されたくない思いが強いので、調子よくできているからといって「これもやってみよう」と言うのはダメ。支援者が、提示した約束（活動量や時間）を守る。
- ・ 困っていることそのものが解決しない限り、安心しない。「大丈夫よ」という言葉では納得できないが、探しているものが見つかるなど、困りごとが解決すると落ち着く。
- ・ 「できた」ということでなく「とりかかった」ことをほめる環境設定が大切。

※ 講義の中で、心に残った内容を、一部紹介させていただきました。



スクールカウンセラー来校予定日

1学期のスクールカウンセラー来校予定日をお知らせいたします。ご確認いただき、相談を希望される場合は、担任の先生もしくはコーディネーターまでお知らせください。



5月29日（木） 9:00～13:00

6月30日（月） 13:30～15:30

7月15日（火） 9:00～13:00